

スイッチチェッカー説明書

Rev.1

- スwitchチェッカーはコミュニケーション機器操作スイッチの動作を確認するための機器です。
- 動作確認はブザー音とランプの光で行います。
- スwitchを離れたときオンになるよう信号を反転することができます。
- 電池でも AC アダプタでも動作します。



各部の名称と機能

- パネル



- 内部



- オプション



スイッチジャック	操作スイッチを接続します。
出力ジャック	パソコン、意思伝達装置などに接続します。
ACアダプタジャック	常時使用する場合オプションの AC アダプタを接続します。
ランプ	出力の状態を表示します。出力がオンの時点灯します。
設定スイッチ	動作を設定します。
電池	単4電池を2本使用します。
ACアダプタ	コンセントから電源を供給します。
接続コード	出力ジャックとパソコン、意思伝達装置などとの間を接続します。

動作

1. 操作スイッチをオンにすると出力がオンになりランプが点灯しブザーが鳴ります。
2. スwitchを操作していないときは節電状態となります。(電源スイッチはありません)



3. 信号反転設定により、操作スイッチをオフにしたときに出力がオンになるようにできます。その場合ランプとブザーは出力がオンの時に動作します。
4. 出力オンが約19秒連続した場合(スイッチが押されたままの場合、信号反転時にスイッチを取り外した場合などに起こります)、出力はオフとなりランプとブザーの動作も止まって節電状態となります。

設定

- 設定スイッチで動作のしかたを設定できます。
- 設定は先のとがった物でスイッチのレバーをスライドさせて行います。



番号	項目	OFF	ON
1	ブザーの入り切り	ブザーを鳴らさない	ブザーを鳴らす
2	ブザーが鳴る長さ (1がONの時有効)	オンの時短く鳴る	オンの間連続して鳴る
3	スイッチ信号反転	反転する スイッチがオフの時出力 オン	反転しない スイッチがオンの時出力 オン
4	フィルタ (ばたつきキャンセラ)	なし スイッチのオンオフをそ のまま出力する	あり ばたつきを抑制する処理 を行う

- 4[フィルタ]を ON にすると、スイッチ信号のオフが約0.2秒連続した時点で出力がオフとなり、出力オフ後約0.2秒間はスイッチ信号を受け付けません。これにより、手の震えなどでスイッチ信号が短い間にオンオフしたとき(ばたつき)に機器の誤動作/誤操作が起こるのを抑制します。ただし、意図して短い間隔でスイッチ操作を行った場合にもばたつきと見なされ素早いスイッチ操作ができなくなります。

入出力仕様

- 入力 3.5mmミニジャック、極性あり(外側の電極がマイナス)、接点入力(無電圧)、
入力電流 0.7mA
- 出力 3.5mm ミニジャック、極性なし、リレー接点出力(無電圧)、負論理(オンの時ショート)、接点定格 DC30V / 1A
- 出力ジャックは3極(ステレオ)タイプを使用しており3極(ステレオ)コードをモノラル変換アダプタなしで使用できます。